

引率者・競技者注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2009年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに大会規定に準じて行うが、参加者の年齢段階を考慮し、競技を進行する。

2. 練習場及び練習について

- (1) 本競技場内は、準備の都合上、練習には使用しない。練習及びアップについては、補助競技場を使用すること。
- (2) 補助競技場（武道館南側）の使用時間は、午前8時から午後3時までとする。ただし補助競技場へは引率者同伴で行き、練習はウォームアップ場係の指示を守り、安全に十分注意して練習すること。練習以外のために補助競技場を使用することは認めない。
- (2) 補助競技場のレーン使用区分は、原則として次のとおりとする。
 - ◇1, 2レーンは1000m・800m走
 - ◇ホームストレート3~6レーンは短距離走 ◇バックストレート3~8レーンはリレー
 - ◇ホームストレート7レーンは80mH走, 8レーンは60mH走（必要に応じてレーンを増やす）
 - ◇フィールド内（芝生）はボール投げ（ウォームアップ場係の指示に従うこと）、跳躍ピットは走り幅跳び・走り高跳び（準備が出来次第、競技役員の指示に従って行うこと）※用器具は、ソフトボール（グラブ）、バトン以外は持ち込まない。

3. 競技者の招集方法について

- (1) 競技に出場するためには、学校受付をし、決められた時間内に招集所での受付（コール）が必要。
- (2) 招集所は、本競技場第1ゲート（100mスタート付近後方）外側に設置する。招集所へ移動する際、そのまま競技に参加できるよう（スパイクは手に持ち、上着は着用してよい）準備をしておく。
- (3) 招集は、競技開始40分前から始め、20分前に完了とし、その後、招集場所で待機し、係員の最終点呼を受ける。ただし、トイレなどに行く場合には、競技者係に申し出て許可を得ること。同時に背・胸・腰ナンバーカード、シューズ、衣類など、競技場内への持ち込み物品などの確認を受ける。
- (4) 招集受付は、選手自身がすることを原則とするが、2種目出場していて選手自身が招集場所に行けない時は、重複出場届を競技者係に提出し、1種目目の召集時に2種目目の召集を合わせて行うこととする。
- (5) 招集に遅れた場合、当該種目を棄権したものと判断し処理する。なお、4×100mリレーの決勝に出場するチームは、競技者係（招集所）にあるリレーオーダー用紙に記入し、60分前までに競技者係に提出すること。

4. ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは本大会規定のものを使用し、ユニホームに固定する。
- (2)トラック競技に出場する競技者（4×100mリレーはアンカーのみ）は、写真判定用の腰ナンバーカードを招集所で受け取り、右腰のやや後方に外からよく見えるように付け、競技終了後フィニッシュライン付近で係員に返却する。

5. 競技について

- (1) その競技に出場している競技者以外は、競技場内（トラック・フィールド）に立ち入ることはできない。
- (2) 決勝の組み合わせ、及びレーン順、試技順は公正に番組編成し、その結果を大型映像及び正面玄関付近の掲示板に掲示する。

トラック競技について

- ア) 同記録者多数の場合は写真を拡大して優劣を測定し、それでも決められない時は抽選とする。この場合はアナウンスにより案内をする。
- イ) トラック競技は、すべて写真判定装置を使用する。
- ウ) 100m走・60mH走・80mH走・4×100mリレーの出発姿勢はクラウチングスタートとする。
- エ) 100m走・60mH走・80mH走・4×100mリレーの各走者は、競技者の安全のため、審判の指示が

あるまで自分の割り当てられたレーン内にとどまること。

- オ) 4×100m リレーにおけるテイクオーバーゾーン（リレーのバトン受け渡し区域）は、20m区域内とする。手前の10mの補助ゾーンは使用してもよい。
- カ) 4×100m リレーでスタートマーク（黄テープ）を各コーナー1箇所使用してもよい。ただし、使用したチームはレース後、責任をもって、テープを取る。
- キ) バトンは競技場備え付けのものを使用する。またリレーに使用するスタートマーク（黄テープ）は主催者が用意し、招集所で競技者係が配布する。
- ク) スタートブロックは、予選から希望者は使用してもよい。
- ケ) 100m走・60mH走・80mH走・4×100m リレーは、タイムレースとし、記録の上位8位または8チームが決勝に進出することができる。
- コ) トラック競技のスタートにおけるフライング失格については、旧ルールを適用し、同一人が2回の違反をした場合に失格とするが、参考記録として走ることができる。
- サ) 1000m走・800m走は、予選を行わず、タイムレース決勝とする。

フィールド競技について

- ア) 走り幅跳びとソフトボール投げは、まず3回の試技を行い、記録の上位8名の選手は、さらに3回の試技を行うことができる。8位の選手が複数出た場合は、2番目以降の記録で順位決定を行う。順位決定については、合計6回の試技全ての記録により決定する。
- イ) 走り高跳びのバーの上げかたは、5cmとする。
 - 男子…（120cm・・・練習）125, 130, 135, 140cm……
 - 女子…（115cm・・・練習）120, 125, 130, 135cm……但し、競技者が一人になった場合には、本人の希望の高さで試技を続けることができる。また、1位が複数の時には、2cmの幅の増減により順位を決定する。
- ウ) 走り高跳びは、マットへの着地は足裏からとし、背中、腰からの着地は無効試技とする。
- エ) マーカーが必要な選手は主催者が用意したものを使用する。なおマーカーは各ピットで競技役員が配布し、助走路に2個まで置くことができる。

6. 表彰について

各種目1位～8位までを表彰する。8位までの入賞者とチームは、アナウンスがあったら、直ちに正面玄関から入ったホールに集合すること。

7. 競技用靴について

- 1. 競技用靴は運動靴またはスパイクシューズ（スパイクピンの数は11本以内の平行ピンで、長さ7mm以下）とし、素足は認めない。ただし、1000m走・800m走は、スパイクシューズは認めない。
- 2. スパイクシューズの着用は、競技場内のトラック・フィールド部分のみとし、スタンドや通路、正面玄関前では絶対着用しないこと。

8. その他

- (1) 全記録を知りたい方は、下記のホームページで確認すること。
<http://gakudoubu.web.fc2.com/>
- (2) 競技者以外の者は、各ゲートからスタンド内に入ること。正面玄関からの出入り、競技場内への立ち入りは禁止とする。横断幕の設置はバックスタンド最上段とし、他の場所への掲示は認めない。
- (3) 医務係は、医務室（エントランスホールから入り、ダッグアウト下の通路をゴール方向に行ったところ）に待機している。
- (4) 大会出場時の応急処置を必要とする事故が生じたときは、本部に連絡して処置を受ける。応急処置後の保険適用外の責任は負わない。
- (5) 貴重品の管理は各自で行う。紛失の責任は負わない。
- (6) 学校受付とプログラム販売（1部500円）は、正面玄関付近で行う。
- (7) リレー決勝の前の5分程度を「クリーンタイム」とします。スタンドのゴミを集めてください。なお、ゴミは各自で責任をもって、持ち帰るようお願いします。

◎競技場内は全て禁煙です。喫煙は正面玄関付近の指定した喫煙所でお願いします。

◎競技場使用マナーの徹底を。（よごさない、傷つけない、迷惑をかけない、けがをしない）